

## **第9期**

**豊田市高齢者保健福祉計画・**

**介護保険事業計画（案）**

**2024～2026年度**

- 目 次 -

第1章 計画の策定に当たって	1
I 計画策定の背景	1
1 超高齢社会への適応	1
2 地域共生社会の実現	2
3 SDGsの視点	3
II 計画の概要	4
1 計画の位置づけ	4
2 計画の対象	4
3 計画の期間	5
4 計画の策定方法	5
5 計画の進捗管理	6
第2章 豊田市の高齢者を取り巻く状況	7
I 豊田市における高齢者の現状	7
1 高齢者の現状	7
2 認定者の現状	11
II 豊田市の日常生活圏域における高齢者の現状	13
1 日常生活圏域の設定	13
2 日常生活圏域別の高齢者・認定者の現状	14
III 豊田市の将来推計	18
1 人口・高齢者数の将来推計	18
2 認定者数の将来推計	19
3 日常生活圏域別の人口・高齢者数の将来推計	20
4 日常生活圏域別の認定者数の将来推計	22
5 認知症高齢者数の将来推計	24
IV 市民ニーズ等の把握	25
1 豊田市高齢者等実態調査	25

第3章 計画の基本的な考え方	29
I 計画のめざす姿	29
II 計画の体系	32
III 重点施策	38
重点1 介護予防・健康づくりに通じる社会参加	38
第4章 施策・事業の展開	
基本目標 I 自分らしく生きられる支えあいのまちづくり	
分野1 介護予防・健康づくり	
施策1 ふれあい・健康づくり	51
施策2 生きがいづくり・就労支援	55
基本目標 II 安心して生きられる支えあいのまちづくり	
分野2 地域共生	
施策1 市民理解の推進	58
施策2 市民参加の支えあい	60
施策3 見守りの推進	62
施策4 重層的な支援	64
施策5 関係機関との連携	69
分野3 介護人材	
施策1 介護に関わる人材への支援	71
分野4 災害・感染症	
施策1 災害・感染症への備え	69
分野5 日常生活	
施策1 生活支援	75
施策2 家族介護支援	78
施策3 住まいの支援	80
第5章 認知症施策推進計画	
I 認知症施策推進計画策定の趣旨	83
II 認知症施策	84
施策1 普及啓発・本人発進支援	84
施策2 認知症予防	84

施策3 認知症本人・介護者への支援-----	85
施策4 バリアフリーの促進と社会参加-----	85
III 認知症施策一覧-----	86
第6章 介護保険事業に関すること-----	87
I 介護保険制度の仕組み-----	87
II 介護保険事業計画策定の視点 -----	88
III 介護保険サービス -----	89
1 居宅サービス -----	89
2 地域密着型サービス -----	93
3 施設サービス -----	96
4 豊田市の介護保険サービスの利用状況 -----	98
5 特別給付 -----	100
6 地域支援事業 -----	101
IV 施設整備計画 -----	104
V 介護保険料（第1号被保険者） -----	105
1 介護保険料収納必要額の算定-----	105
2 介護保険料の算定 -----	111
VI 効果的な介護保険事業運営に向けて -----	118
施策1 安心して生活するために-----	118
施策2 適切な事業運営に向けて -----	119
資料 -----	121

注：本文の図表等の年度については、表記を省略している場合があります。

例) 2023 は「2023年度」

# 第1章 計画の策定に当たって

## I 計画策定の背景

### 1 超高齢社会への適応

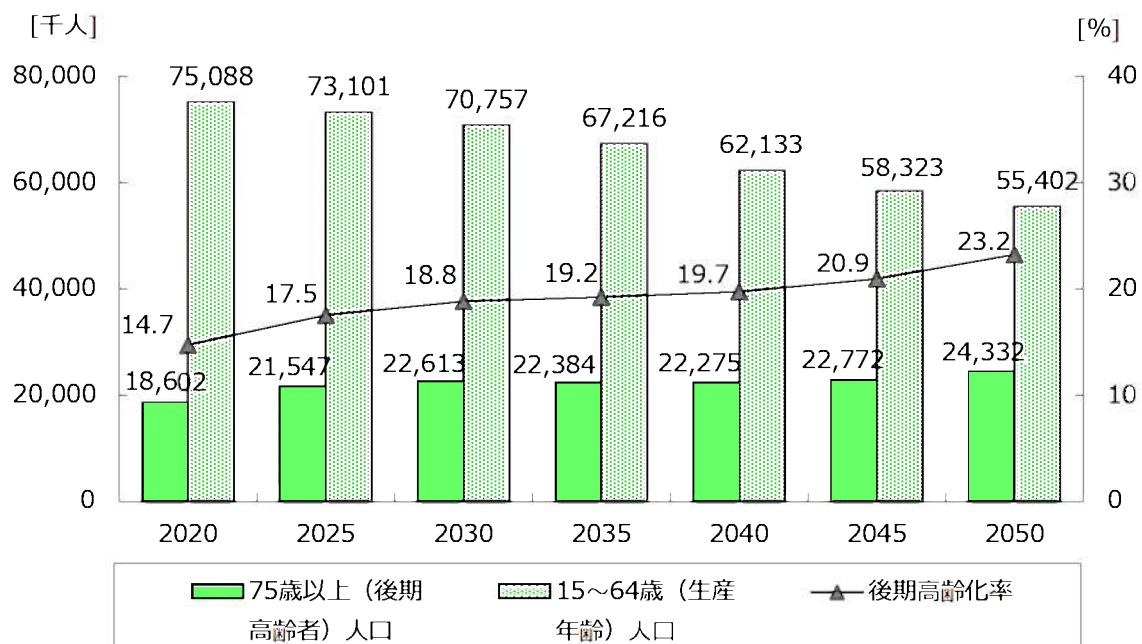
2023年10月1日現在、我が国の65歳以上の高齢者人口は3,622万人、総人口に占める割合（高齢化率）は約29%となっています。

認定率（第1号被保険者数に占める要支援・要介護認定者数の割合）が高くなる75歳以上の後期高齢者人口をみると、団塊の世代全てが後期高齢者となっている2025年には2,155万人となる見込みです。以降も、総人口及び生産年齢人口の減少が続き、2040年にはいわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上になっているなど、人口の高齢化は今後更に進展することが見込まれています。

また、高齢者世帯に占める単身・夫婦のみ世帯の割合の上昇や、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症となる見込みなど、支援や介護に対するニーズは、一層、拡大するとともに多様化・複雑化していくことが予想されます。

本市においても、全国同様に、生産年齢人口の減少や後期高齢者人口の増加が進み、2040年には高齢化率が3割を超えると見込んでいます。

図表1 - 1 全国の後期高齢者数等の推移



出典) 国立社会保障・人口問題研究所：日本の将来推計人口（令和5年推計、出生中位(死亡中位)推計）  
2020年は総務省「国勢調査」

## 2 地域共生社会の実現

我が国では、超高齢社会に適應するため、地域包括ケアシステムを地域の実情に  
 応じて深化・推進してきたことに加え、包括的な支援体制の構築等の社会福祉基盤  
 の整備と併せて一体的に取り組むことで、地域共生社会（あらゆる制度・分野の枠  
 や、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会が  
 つながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくこと  
 のできる包摂的な社会）の実現を図っています。

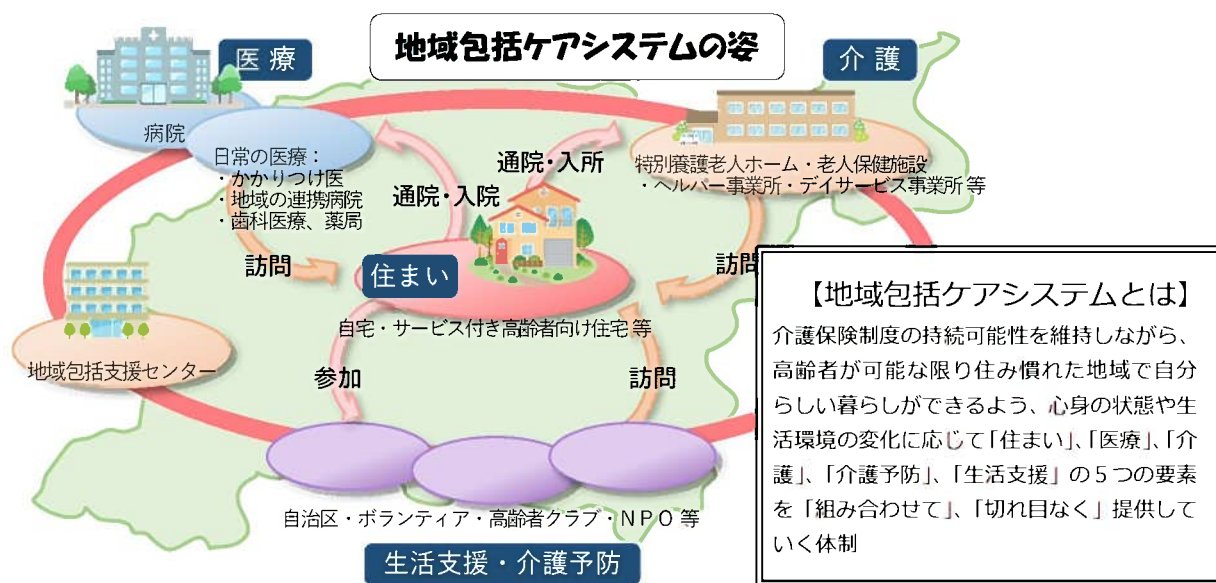
そのために、高齢者の社会参加促進、幅広い専門職と連携した自立支援につな  
 がる取組の推進などの介護予防・健康づくりの充実や認知症施策の推進が必要とな  
 っています。

特に、認知症施策については、「認知症施策推進大綱」（2019年6月）が取りまと  
 められ、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（2023年6月）が公布さ  
 れています。これらの法律や大綱に沿って、認知症の人ができる限り地域で自分ら  
 しく暮らし続けることができる社会の実現を目指すことが求められています。

また、新型コロナウイルス感染症による経験を踏まえた、感染症や災害等への対  
 策という視点についても、引き続き必要となっています。

こうした施策を支える社会福祉基盤として、介護人材の確保も含め各サービスの  
 充実を図るとともに効果的な運営も非常に重要になっています。

本市においても、住民が主体となって多様な地域活動を展開する中で培ってきた  
 地域のつながりや共働の取組などを生かしながら、地域共生社会の実現に向けた取  
 組を推進していくことが求められています。



### 3 SDGsの視点

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、国連サミット (2015年9月) において採択された国際目標です。17のゴール (目標) が設定され、現在、世界各国が2030年の目標達成に向けて取組を進めています。

本市は、2018年6月に内閣府からSDGs達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体「SDGs未来都市」に選定されています。

本計画においても、高齢者福祉に関する課題に対応するに当たってSDGsの視点を踏まえて取り組んでいきます。

#### <本計画と関連が深い目標>

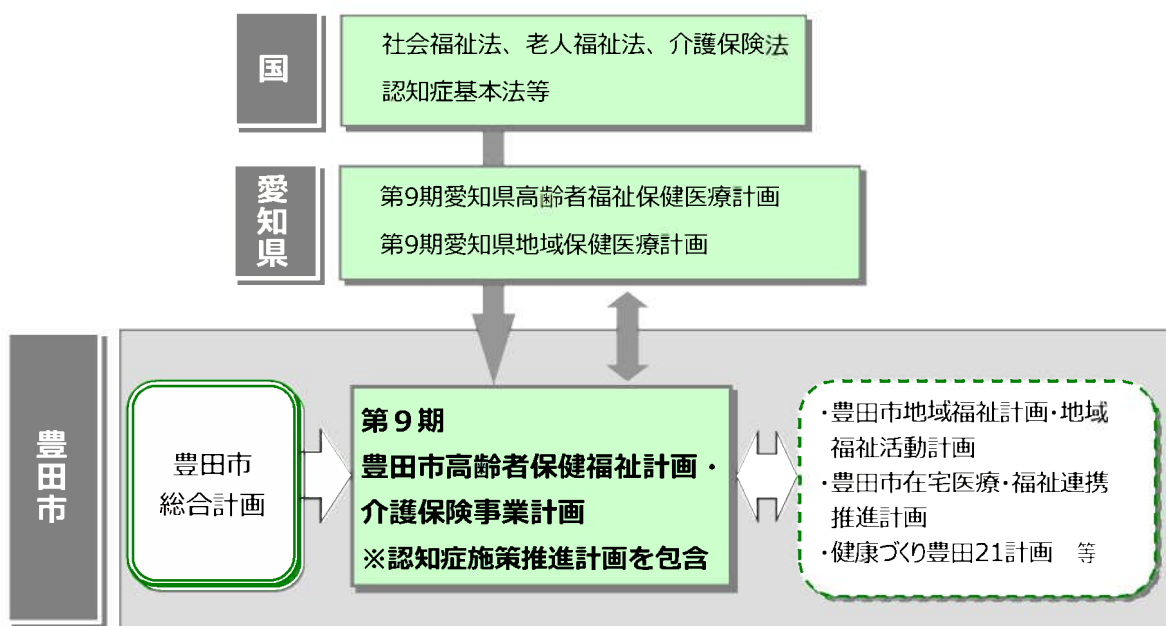
アイコン	説明	アイコン	説明
	<b>1 貧困をなくそう</b> あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		<b>10 人や国の不平等をなくそう</b> 各国内及び各国間の不平等を是正する
	<b>2 飢餓をゼロに</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		<b>11 住み続けられるまちづくりを</b> 包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	<b>3 すべての人に健康と福祉を</b> あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		<b>13 気候変動に具体的な対策を</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	<b>4 質の高い教育をみんなに</b> 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する		<b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	<b>8 働きがいも経済成長も</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する		

## II 計画の概要

### 1 計画の位置づけ

本計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「市町村老人福祉計画」と、介護保険法第117条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」とを一体化し、共生社会の実現を推進するための認知症基本法（以下、「認知症基本法」という。）第13条の規定に基づく「市町村認知症施策推進計画」も含めたものです。市の上位計画である「第8次豊田市総合計画」や関連計画、国・愛知県との整合性を図っています。また、前計画である「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の成果等を踏まえて策定しました。

図表1 - 2 計画の位置づけ



### 2 計画の対象

本計画の対象者は、市民及び介護保険の被保険者であり、主に65歳以上の高齢者が対象です。



### 3 計画の期間

介護保険事業計画は介護保険法第117条第1項により3年を1期とすると定められています。したがって、本計画については、2024年度から2026年度までの3か年を計画期間とします。

なお、人口、要支援・要介護認定者（以下「認定者」という。）の数、介護保険料等については、国の基本指針に基づき、団塊ジュニアの世代（1971～1974年生まれ）が後期高齢者となる2050年を見据えるなど、中長期的な視点を持って策定しています。

### 4 計画の策定方法

#### （1）豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会

高齢者保健福祉事業及び介護保険事業の運営については、幅広い関係者の協力を得て、本市の実情に応じたものとするのが求められます。このため、学識経験者、医療関係者、保健福祉事業関係者、関係団体、公募市民による「豊田市社会福祉審議会 高齢者専門分科会」において、計画策定に係る審議を行いました。

#### （2）市民等のニーズ把握

計画の策定に当たって、在宅介護支援のニーズ、医療・介護・住まい・生活支援・介護予防に関する支援・サービスの実態、その在り方に関する意見等を把握するために、2022年9月から10月まで、高齢者、介護保険の認定者等、介護サービス事業所、ケアマネジャーを対象に「豊田市高齢者等実態調査」を実施しました。

また、豊田市高齢者等実態調査の結果を踏まえ、より具体的な意見を施策や事業の立案の参考とするために、地域会議を始め、市民や関係団体等から様々な機会を捉え、幅広く意見聴取しました。

図表2 - 1 意見聴取団体等

地域会議、市民、高齢者、要支援者、要介護者とその家族、介護サービス事業所、介護職員、ケアマネジャー、区長会、民生委員児童委員協議会、高齢者クラブ、市民活動団体（介護予防講座、芸能披露、有償ボランティア）、傾聴ボランティア、ファミリー・サービス・クラブ、市民活動実践者、認知症地域支援推進員、介護相談員、若年性認知症本人・家族会、介護サービス機関連絡協議会（ケアマネ部会）、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、民間企業、自治体、大学関係者、中学校の先生・生徒

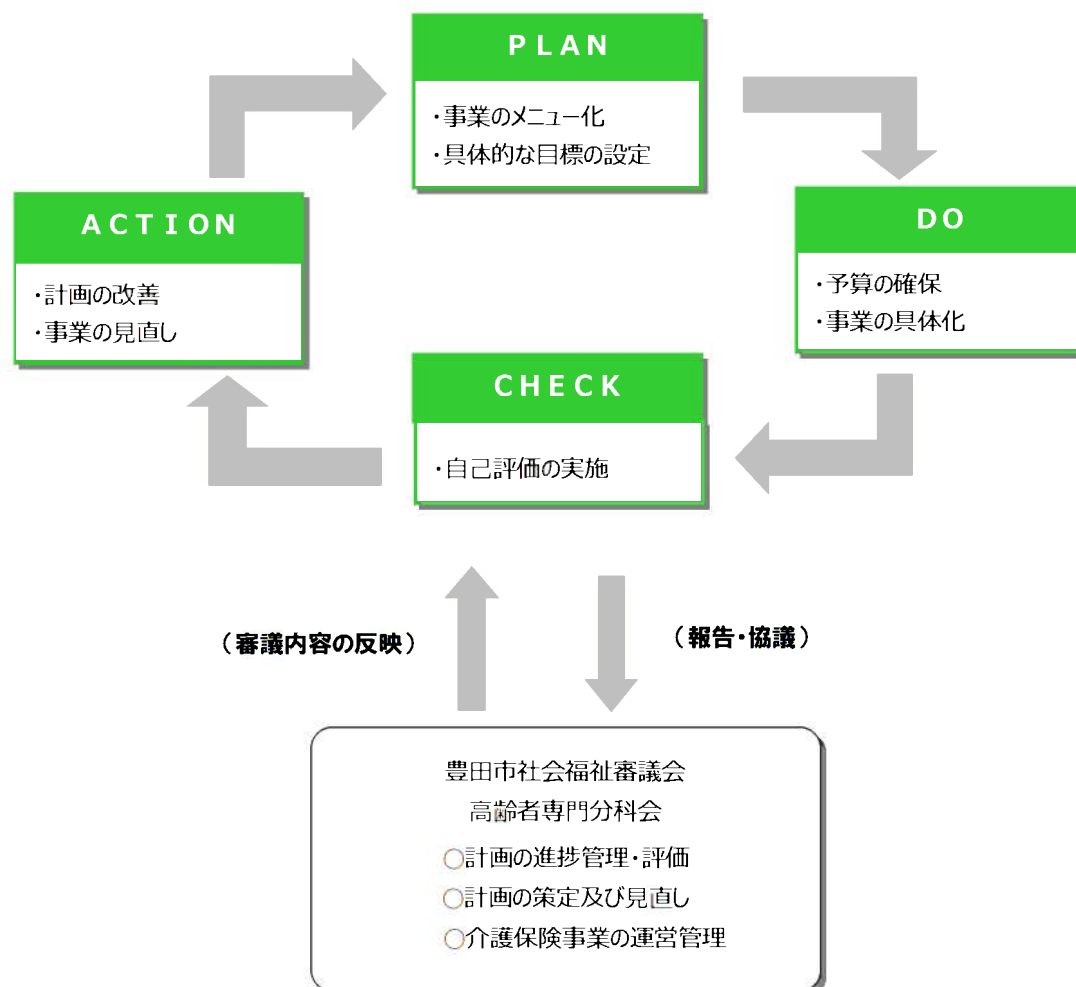
## 5 計画の進捗管理

本計画の推進に向けて「PDCAサイクル（PLAN（計画）→DO（実施）→CHECK（評価）→ACTION（改善）」に基づき、効果的な計画の進捗管理を行います。また、事業の進捗を客観的に管理（評価）できるよう、以下の指標を設定します。

- ・本市の高齢者福祉・介護保険施策全般の取組成果をはかるための「**総合指標**」
- ・各重点施策の達成状況をはかるための「**成果指標**」
- ・個別の事業の取組実績をはかるための「**活動指標**」

この3つの指標に対する実績を確認し、計画の進捗評価を行い、事業を見直しながら本計画を推進します。また、これらの評価結果等については情報公開し、継続的に市民や関係機関のニーズを把握するよう努めていきます。

図表1 - 3 計画の進捗管理と評価



## 第2章 豊田市の高齢者を取り巻く状況

### I 豊田市における高齢者の現状

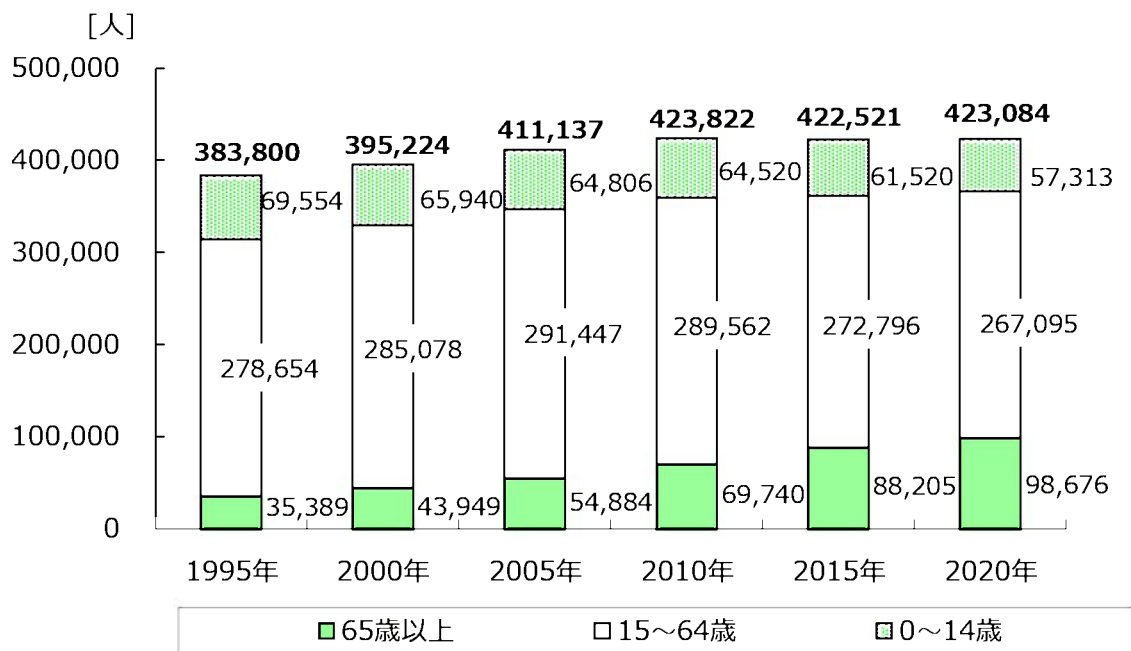
#### 1 高齢者の現状

##### (1) 人口・高齢者数の推移

本市の総人口は、2020年で42万3,084人です。2010年以降は、ほぼ横ばいで推移しています。また、高齢者数・高齢化率は年々増加しており、2020年で、高齢者数9万8,676人、高齢化率23.3%となっています。一方、生産年齢人口は2005年以降減少しています。

2020年の高齢化率は、愛知県より1.7ポイント、全国より5.4ポイント低い値となっています。

図表2-2 総人口、年齢3区分別人口の推移



出典) 豊田市：住民基本台帳（2005年以降） 総務省統計局：国勢調査（2000年以前）  
 ※ 1995年と2000年は、合併前の7市町村のデータを合算しています（以下、同様）。  
 ※ 国勢調査の総人口には、年齢不詳を含みます。

図表2-3 国・愛知県との高齢化率の比較

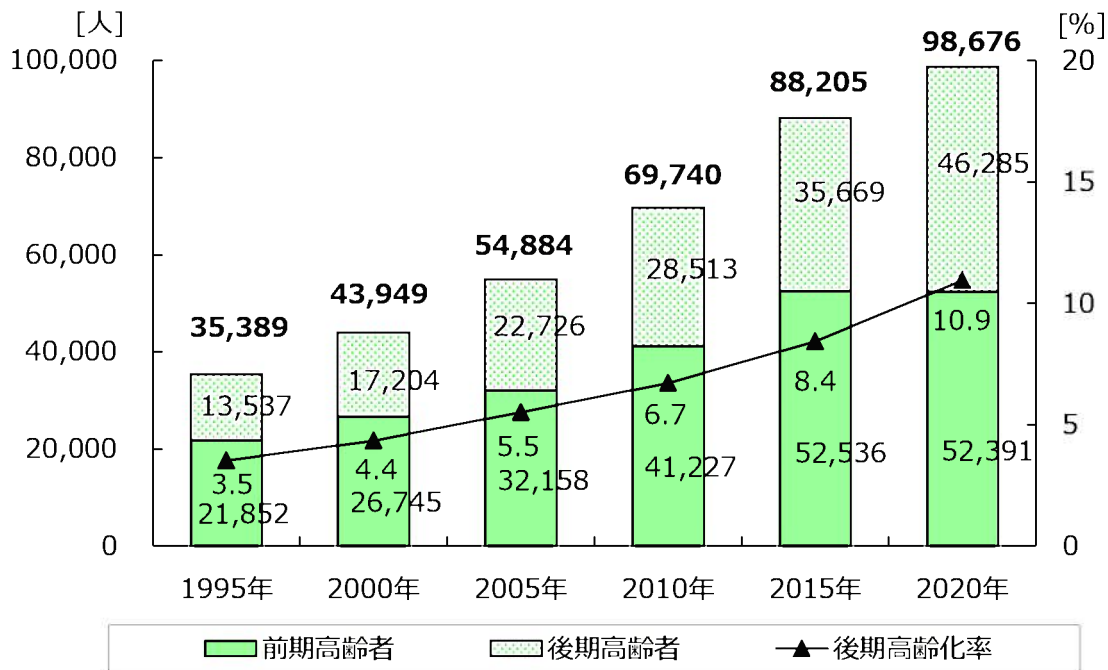
単位：%

区分	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
豊田市	9.2	11.1	13.3	16.5	20.9	23.3
愛知県	11.9	14.5	17.2	20.1	23.5	25.0
全国	14.5	17.3	20.1	22.8	26.3	28.7

出典) 豊田市：住民基本台帳（豊田市の2005年以降）  
 総務省統計局：国勢調査（豊田市の2000年以前、愛知県と全国の2015年以前）  
 愛知県：人口動向調査（2020年10月1日の推計値） 総務省：人口推計（2020年10月1日の概算値）  
 ※ 高齢化率は、総人口（年齢不詳を含む）に占める65歳以上人口の割合

年齢別の高齢者数をみると、2020年で、前期高齢者数（65～74歳）5万2,391人、後期高齢者数（75歳以上）4万6,285人となっています。1995年からの推移をみると、高齢者数は年々増加しています。これに伴い、後期高齢化率（総人口に占める後期高齢者の割合）も同様に増加しており、2020年には10.9%となっています。

図表2 - 4 前期高齢者・後期高齢者の人口、後期高齢化率の推移



出典) 豊田市：住民基本台帳（2005年以降） 総務省統計局：国勢調査（2000年以前）

※ 後期高齢化率は、総人口（年齢不詳を含む）に占める75歳以上人口の割合

## (2) 長寿化の状況

本市の平均寿命は、2020年で男性82.7歳、女性87.8歳となっており、男性は愛知県・全国と比べてやや長くなっています。2005年からの変化をみると、緩やかに伸びています。

図表2 - 5 平均寿命の推移

単位：歳

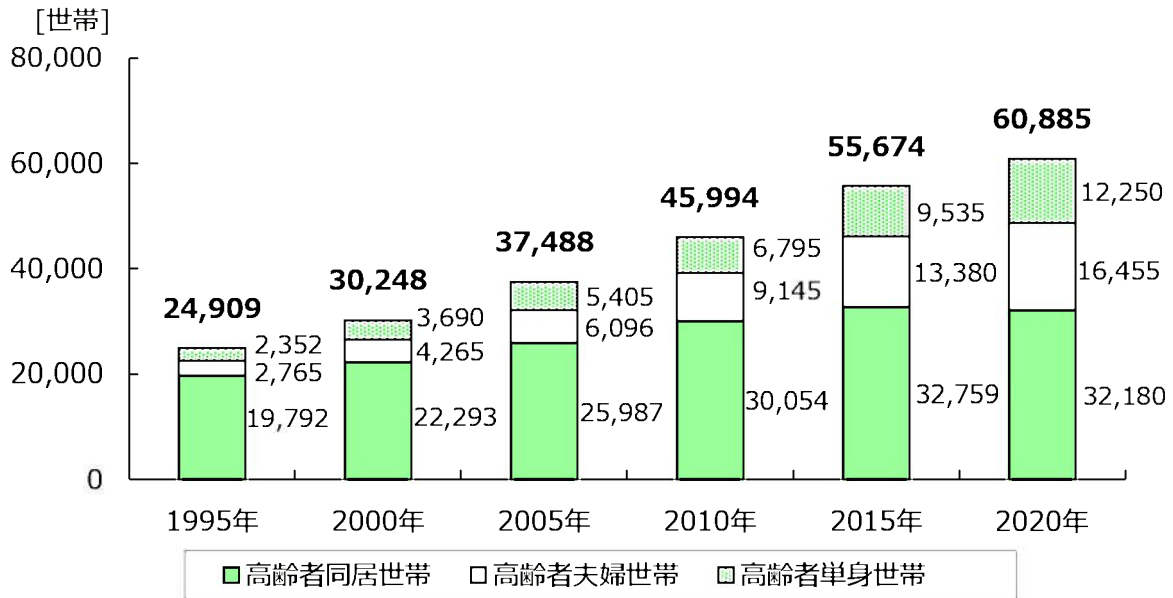
	2005年		2010年		2015年		2020年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
豊田市	80.4	85.9	80.5	86.6	81.8	86.9	82.7	87.8
愛知県	79.1	85.4	79.7	86.2	81.1	86.9	81.8	87.5
全国	78.8	85.8	79.6	86.4	80.8	87.0	81.6	87.7

出典) 厚生労働省：完全生命表、都道府県別生命表、市区町村別生命表

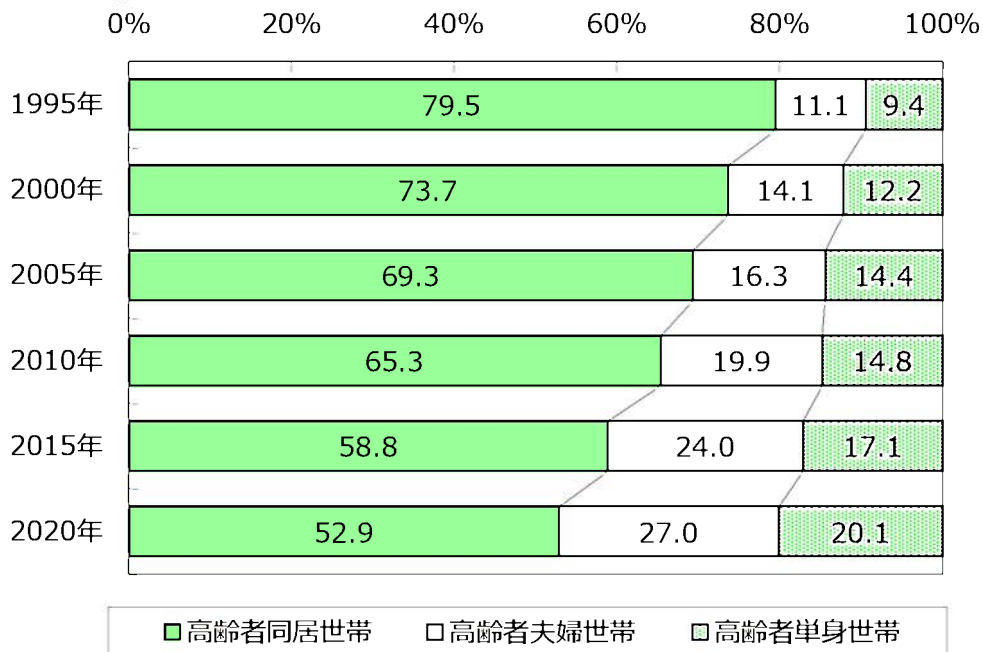
(3) 世帯類型別の高齢者世帯の推移

最新の国勢調査データで、本市の高齢者のいる世帯数の推移を世帯類型別にみると、高齢者夫婦世帯、高齢者単身世帯数が増加しています。2020年では、単身世帯が20.1%、夫婦世帯が27.0%、同居世帯が52.9%となっています。

図表2-6 高齢者のいる世帯数の推移



図表2-7 高齢者世帯の世帯内訳の推移



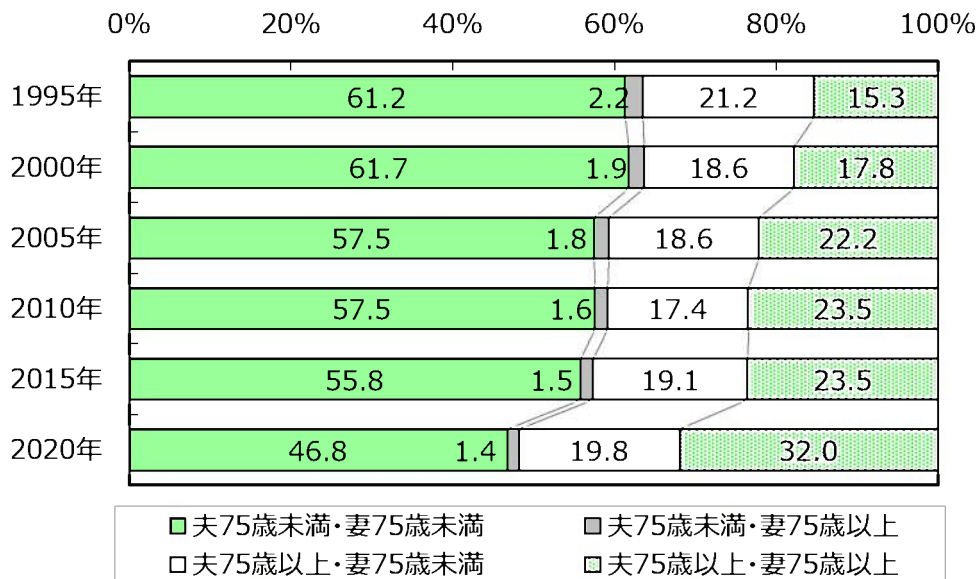
出典) 総務省統計局：国勢調査

(4) 高齢者世帯の年齢構成の推移

最新の国勢調査データで、本市の高齢者夫婦世帯の夫婦の年齢別割合の推移をみると、夫婦ともに75歳以上の世帯の割合は、2020年で32.0%となっています。

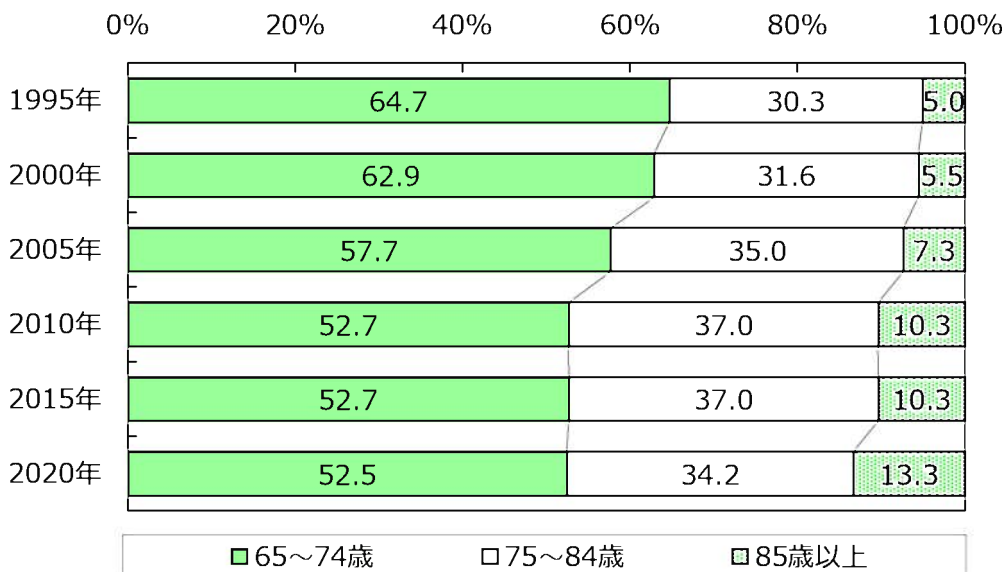
高齢者単身世帯の年齢別割合の推移をみると、2020年で75～84歳が34.2%、85歳以上が13.3%と、後期高齢者が約半数を占めています。

図表2 - 8 高齢者夫婦世帯の夫婦の年齢別割合の推移



出典) 総務省統計局：国勢調査

図表2 - 9 高齢者単身世帯の年齢別割合の推移



出典) 総務省統計局：国勢調査

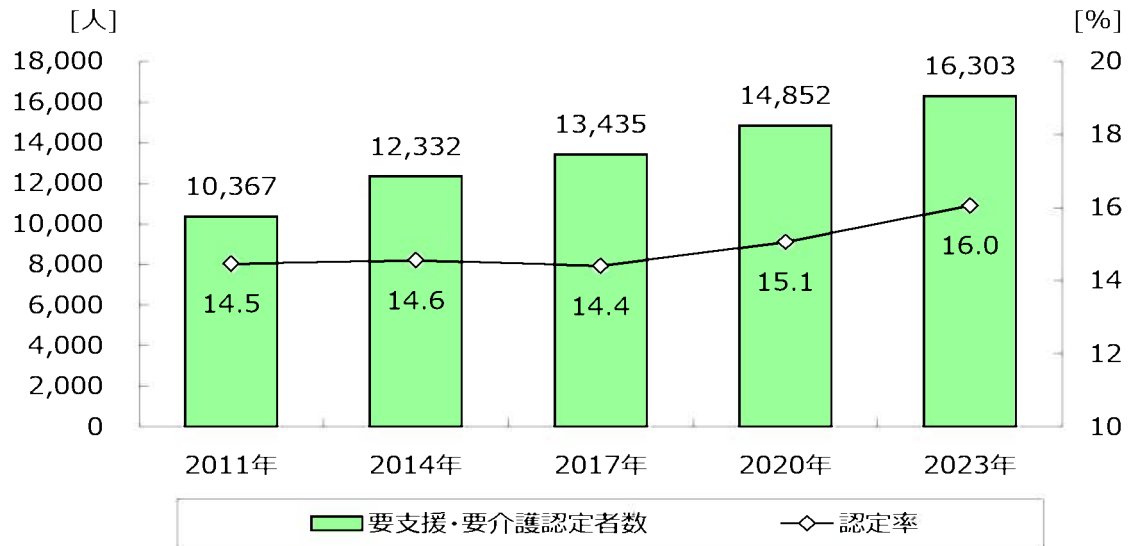
## 2 認定者の現状

### (1) 認定者数の推移

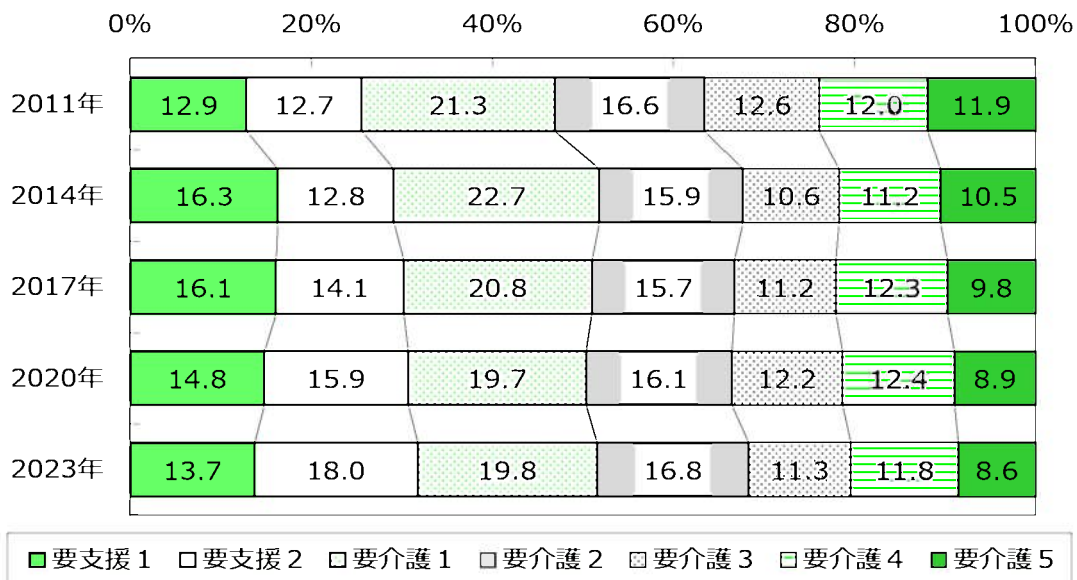
本市の認定者数は、2023年9月末で1万6,303人です。認定者数は年々増加しており2011年と比較して約1.6倍（5,936人増加）となっています。認定率（第1号被保険者数に占める要支援・要介護認定者数の割合）は、2023年9月末で16.0%となっています。

2023年の要介護度別の認定者数の割合をみると、要支援1・2及び要介護1の軽度者が約半数を占めています。2020年から2023年にかけては要支援2の割合が増加しています。

図表2 - 10 認定者数、認定率の推移



図表2 - 11 要介護度別認定者数割合の推移



出典) 厚生労働省：介護保険事業状況報告（2011～2014年、各年9月末時点）  
豊田市資料（2017～2023年9月末時点）

## (2) 認定者の年齢構成

本市の2023年の認定者1万6,303人のうち、第1号被保険者は1万5,926人、第2号被保険者は377人となっています。年齢別にみると、75歳以上が86.7%、85歳以上が49.4%を占めています。

図表2 - 12 年齢・要介護度別の認定者数

単位：人

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	2,202	2,856	3,192	2,671	1,786	1,878	1,341	15,926
65～69歳	92	121	67	72	62	54	64	532
70～74歳	199	283	175	197	139	153	112	1,258
75～79歳	408	507	399	372	230	235	187	2,338
80～84歳	671	702	795	582	336	368	286	3,740
85～89歳	532	719	970	711	443	443	312	4,130
90歳以上	300	524	786	737	576	625	380	3,928
第2号被保険者	39	79	38	63	52	53	53	377
合計	2,241	2,935	3,230	2,734	1,838	1,931	1,394	16,303

出典) 豊田市資料 (2023年9月末時点)



## II 豊田市の日常生活圏域における高齢者の現状

### 1 日常生活圏域の設定

高齢化のピークを見据えて、生活上の安全・安心・健康が確保される社会システムを構築するためには、介護・福祉・医療・住宅の各領域のサービスを、「日常生活圏域」において、適切に組み合わせ提供することが求められます。

介護保険事業計画では、住民が日常生活を営んでいる地域を「日常生活圏域」として、地理的条件、人口、その他の社会的条件等を総合的に勘案して定めることとなっています。

本市では、高齢者人口、地理的条件、地域特性、交通（主要国道）における人の流れ等を考慮し、第3～8期計画に引き続き、次の8つを日常生活圏域としました。

この日常生活圏域を単位として、地域密着型サービス等の提供や、地域における継続的な支援体制の整備を進めていくことで、介護を必要とする状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域での生活を継続できる仕組みづくりを進めます。

図表2 - 13 日常生活圏域



図表2 - 14 日常生活圏域別中学校区一覧

日常生活圏域	中学校区
拳母	逢妻、朝日丘、梅坪台、浄水、崇化館、豊南
高橋	高橋、益宮、美里
上郷	上郷、末野原
高岡	高岡、前林、竜神、若園
猿投	井郷、石野、猿投、猿投台、保見
松平・下山	松平、下山
藤岡・小原	藤岡、藤岡南、小原
足助・旭・稲武	足助、旭、稲武

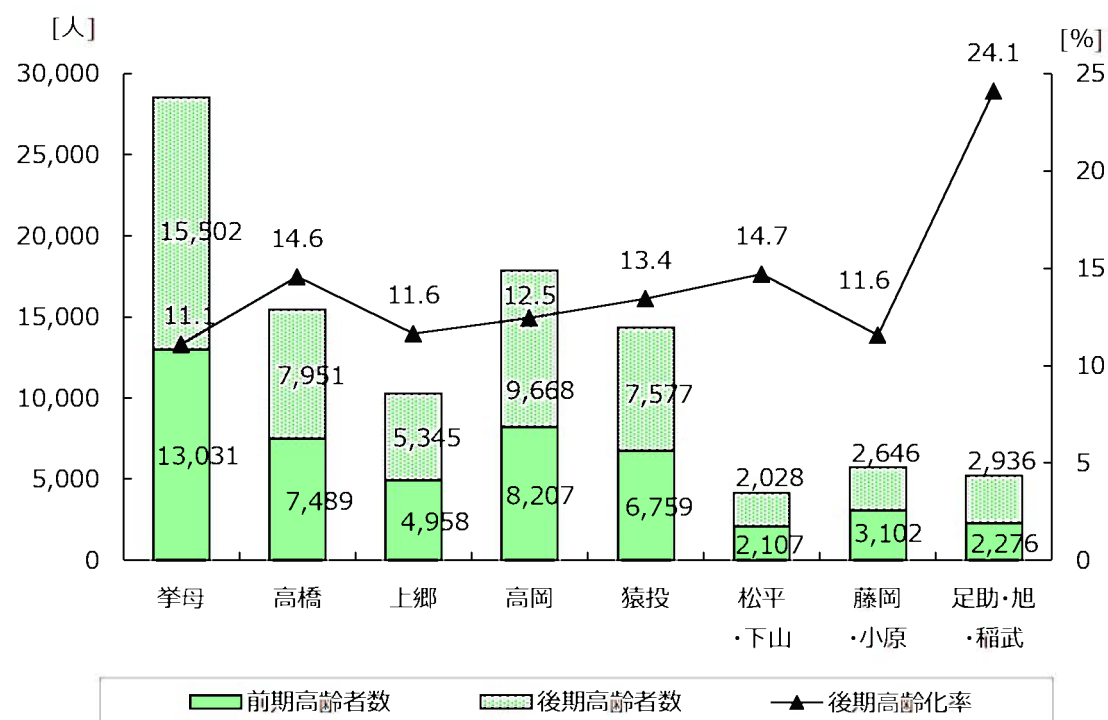
## 2 日常生活圏域別の高齢者・認定者の現状

### (1) 年齢別の高齢者数の圏域比較

2023年の圏域別の年齢別高齢者数をみると、後期高齢者数が最も多いのは「拳母」で1万5,502人、次いで「高岡」が9,668人となっています。

後期高齢化率は、「足助・旭・稲武」が最も高く24.1%で、次いで「松平・下山」が14.7%、高橋が14.6%となっています。

図表2 - 15 各日常生活圏域の年齢別高齢者数



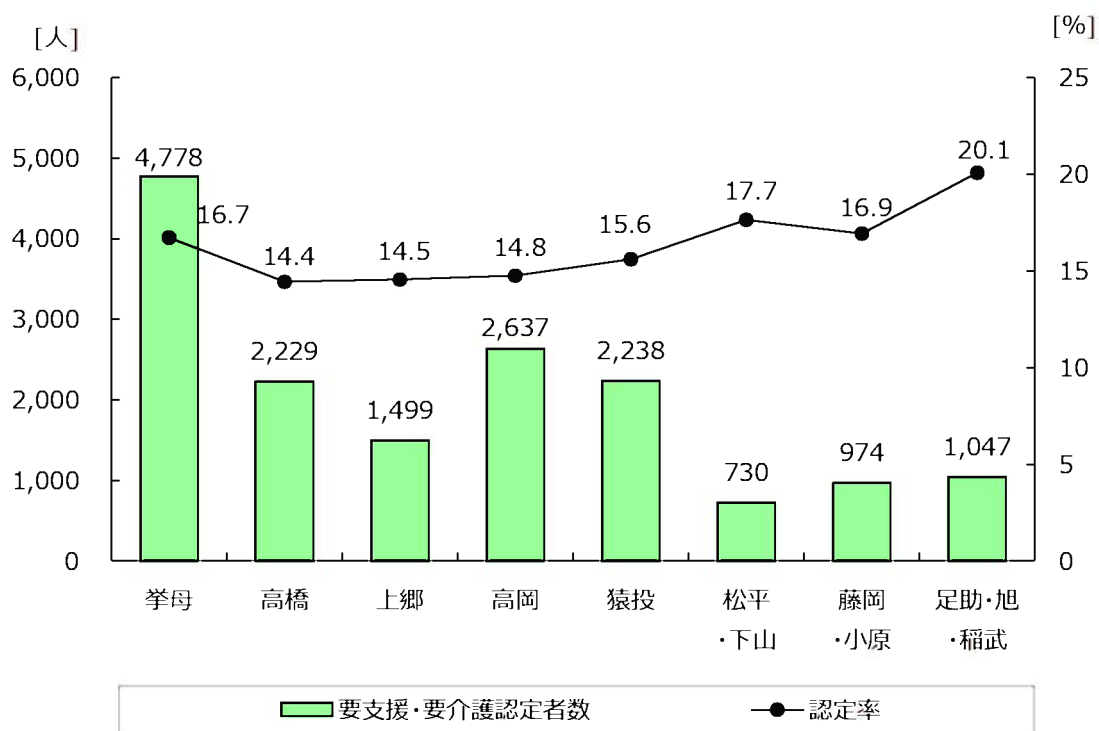
出典) 豊田市資料 (2023年 10月1日時点)

(2) 認定者数・認定率の圏域比較

2023年の圏域別の認定者数をみると、最も多いのは「拳母」で4,778人、次いで「高岡」が2,637人、「猿投」が2,238人、「高橋」が2,229人となっています。

認定率は「足助・旭・稲武」が20.1%、「松平・下山」が17.7%と他の圏域と比べ高くなっています。

図表2 - 16 各日常生活圏域の認定者数・認定率



出典) 豊田市資料 (2023年 9月末時点)  
 ※ 住所地特例者を除きます。

(3) 介護事業所等の圏域比較

介護・医療等の地域資源について、全体的に「拳母」で多く整備されています。在宅サービスについてみると、全ての圏域で、居宅療養管理指導、通所介護等、短期入所生活介護、認知症対応型通所介護、居宅介護支援の事業所が立地しています。訪問系サービスは「拳母」で多く整備されています。通所系サービスも、「拳母」を中心に整備されていますが、高齢者数の規模からみると「足助・旭・稲武」で比較的多くなっています。

施設・居住系サービスについてみると、全ての圏域で、介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護が整備されています。

図表2 - 17 圏域別の介護サービス事業所等

単位：事業所数

	拳母	高橋	上郷	高岡	猿投	松平 ・下山	藤岡 ・小原	足助 ・旭 ・稲武
在宅サービス								
訪問介護等※	36	11	-	7	8	-	4	3
訪問入浴介護	5	-	-	-	-	-	-	-
訪問看護	20	3	1	2	2	1	-	1
訪問リハビリテーション※	3	-	1	-	-	-	-	1
居宅療養管理指導※	43	10	6	10	13	2	4	2
通所介護等※	38	14	7	15	16	8	8	13
通所リハビリテーション	4	1	2	1	1	-	2	1
短期入所生活介護	7	3	1	3	5	1	2	1
短期入所療養介護	4	1	1	1	1	-	1	1
認知症対応型通所介護	1	3	2	2	2	1	1	1
小規模多機能型居宅介護	-	1	-	-	1	-	-	-
福祉用具貸与	7	4	-	2	1	-	-	-
居宅介護支援	24	6	4	10	11	3	7	5
施設・居住系サービス								
介護老人福祉施設	5	1	1	2	2	1	1	1
介護老人保健施設	4	1	1	1	-	-	1	-
介護医療院	-	-	-	-	1	-	-	1
特定施設入居者生活介護	4	-	-	2	1	-	-	-
認知症対応型共同生活介護	9	2	2	4	5	1	3	4
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	1	2	1	3	4	-	1	-
その他の介護資源								
地域包括支援センター	6	3	2	4	5	2	3	3

出典) 豊田市資料(2023年10月末時点)

※ 訪問介護等は総合事業を含む、通所介護等は地域密着型通所介護・総合事業を含みます。  
訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導は、2023年10月のサービス利用実績によります。

高齢者向け住まいは、「拳母」、「高橋」を中心に整備が進んでおり、シルバーハウジングは「高橋」で、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅は「拳母」で、特に多くなっています。

医療機関についてみると、診療所は医科・歯科ともに全ての圏域で立地しています。

図表2 - 18 圏域別の高齢者向け住まい・医療機関 単位：住まいは戸数（一部は定員）、医療機関は機関数

	拳母	高橋	上郷	高岡	猿投	松平 ・下山	藤岡 ・小原	足助 ・旭 ・稲武
高齢者向け住まい								
軽費老人ホーム（定員）	-	50	50	-	-	-	-	-
生活支援ハウス	-	-	-	-	-	-	-	10
養護老人ホーム（定員）	50	-	-	-	-	-	-	-
シルバーハウジング	18	100	14	-	-	-	-	-
有料老人ホーム※（定員）	847 (266)	223 (83)	29 (-)	167 (60)	93 (60)	-	91 (-)	-
医療機関								
病院	7	2	3	2	3	-	-	1
在宅療養支援診療所（医科）	12	2	3	8	5	2	1	2
在宅療養支援診療所（歯科）	7	3	2	4	1	1	1	1
その他の診療所（医科）	74	18	10	23	10	1	3	2
その他の診療所（歯科）	50	16	13	20	15	2	6	5

出典）豊田市資料（高齢者向け住まい：2023年10月1日時点、医療機関：2020年12月1日時点）

※（ ）は、「有料老人ホーム」のうち「サービス付き高齢者向け住宅」の登録を受けているもの

### Ⅲ 豊田市の将来推計

#### 1 人口・高齢者数の将来推計

2023年10月1日の住民基本台帳人口(性別・年齢1歳階級別)を基準人口として、2024~2029年(計画2期分)と2050年(中長期)の人口・高齢者数の将来推計をコーホート要因法<sup>※</sup>等により行いました。

その結果、高齢者数は2023年と比較して、2026年に2,814人、2029年に5,392人増加する見込みです。前期高齢者数は2028年にかけて減少していく一方、後期高齢者数は増加が続く見込みです。高齢化率は、2023年には24.4%、2029年には26.2%、2050年は34.8%となる見込みです。

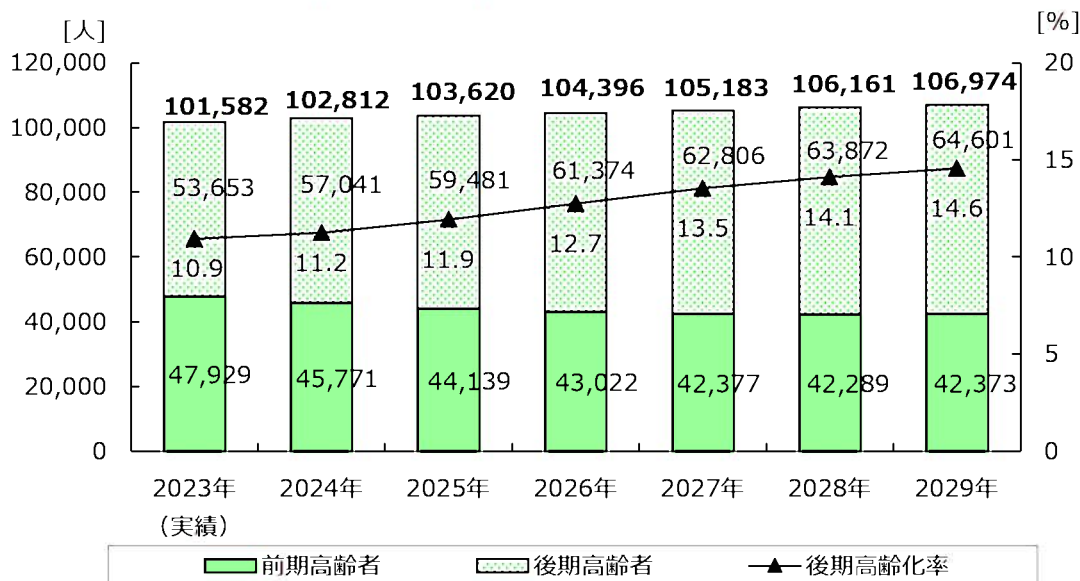
※コーホート要因法：ある年次の性別・年齢別人口を基準として、その時間変化を死亡と移動の要因に振り分けて、出生により発生する新たな人口を加える推計方法

図表2-19 豊田市の推計人口・高齢化率

単位：人

	40歳未満	40~64歳	65~74歳	75歳以上	高齢者計	総人口	高齢化率
2023年実績	173,971	141,327	47,929	53,653	101,582	416,880	24.4%
2024年	171,376	141,656	45,771	57,041	102,812	415,844	24.7%
2025年	169,119	141,923	44,139	59,481	103,620	414,662	25.0%
2026年	166,867	142,117	43,022	61,374	104,396	413,380	25.3%
2027年	164,742	142,084	42,377	62,806	105,183	412,009	25.5%
2028年	162,802	141,557	42,289	63,872	106,161	410,520	25.9%
2029年	160,889	141,044	42,373	64,601	106,974	408,907	26.2%
2050年	128,207	105,680	48,922	75,845	124,767	358,654	34.8%

図表2-20 豊田市の推計高齢者数・後期高齢化率



出典) 2023年実績は、豊田市：住民基本台帳人口(10月1日時点)

※ 2024~2050年の推計人口は、各年10月1日時点

## 2 認定者数の将来推計

2023～2029年と2050年の性別・年齢階級別推計人口に対し、2022年9月末時点の性別・介護度別・年齢階級別出現率を乗じて、各年の認定者数を推計しました。

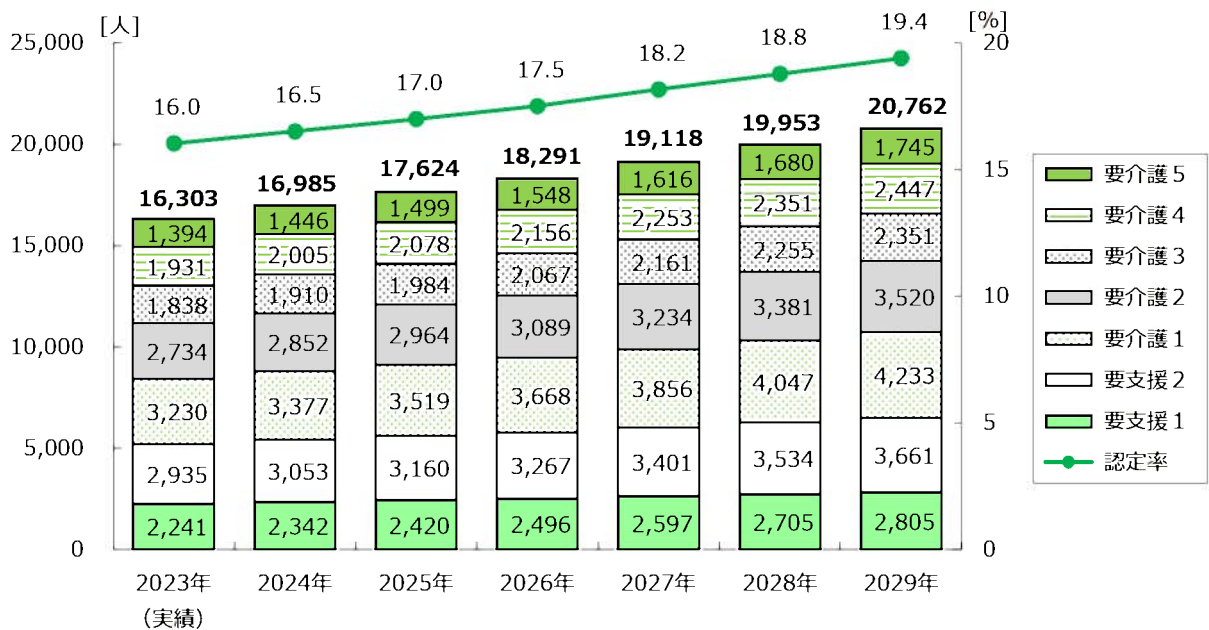
認定者数は、2023年と比較して、2026年には1,988人、2029年には4,459人増加する見込みです。認定率は徐々に増加し、2026年には17.5%、2029年には19.4%、2050年には21.7%となる見込みです。

図表2 - 21 豊田市の推計認定者数・認定率

単位：人

	高齢者人口	認定率	認定者数							
			合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2023年実績	101,582	16.0%	16,303	2,241	2,935	3,230	2,734	1,838	1,931	1,394
2024年	102,812	16.5%	16,985	2,342	3,053	3,377	2,852	1,910	2,005	1,446
2025年	103,620	17.0%	17,624	2,420	3,160	3,519	2,964	1,984	2,078	1,499
2026年	104,396	17.5%	18,291	2,496	3,267	3,668	3,089	2,067	2,156	1,548
2027年	105,183	18.2%	19,118	2,597	3,401	3,856	3,234	2,161	2,253	1,616
2028年	106,161	18.8%	19,953	2,705	3,534	4,047	3,381	2,255	2,351	1,680
2029年	106,974	19.4%	20,762	2,805	3,661	4,233	3,520	2,351	2,447	1,745
2050年	121,595	21.7%	26,391	3,260	4,442	5,334	4,571	3,162	3,335	2,287

図表2 - 22 豊田市の推計認定者数・認定率



出典) 2023年実績は豊田市資料

※ 2024～2050年の推計認定者数は、各年9月末時点

### 3 日常生活圏域別の人口・高齢者数の将来推計

2023年10月1日の住民基本台帳人口(性別・年齢5歳階級別)を基準人口として、2024～2029年の日常生活圏域別の人口・高齢者の将来推計を、コーホート変化率法<sup>※</sup>により推計を行いました。

前期高齢者数は2023年から2026年にかけて全圏域で減少しています。後期高齢者数は2023年から2029年にかけて全圏域で増加し、特に「拳母」で2,887人、「高橋」で1,929人、「高岡」で1,871人、「猿投」で1,596人の増加が見込まれます。

高齢化率は、「足助・旭・稲武」が2029年で49.8%と、他の圏域に比べ高くなっています。

※コーホート変化率法：ある年次の性別・年齢別人口を基準として、その時間変化を変化率として捉え、その率が将来も大きく変化しないものとして推計する方法。コーホート要因法に必要な、日常生活圏域別の生残率及び純移動率のデータがないため、コーホート変化率法により推計を行っています。

図表2 - 23 日常生活圏域別の推計人口

単位：人

	拳母			高橋		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	61,169	59,858	59,024	20,498	19,199	18,042
40～64歳	48,472	49,396	49,477	17,585	17,580	17,357
65～74歳	13,031	12,161	12,595	7,489	6,401	5,947
75歳以上	15,502	17,515	18,389	7,951	9,287	9,880
高齢者計	28,533	29,676	30,984	15,440	15,688	15,827
総人口	138,174	138,930	139,485	53,523	52,467	51,226
高齢化率	20.7%	21.4%	22.2%	28.8%	29.9%	30.9%

	上郷			高岡		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	19,800	18,444	17,227	32,840	31,512	30,328
40～64歳	14,489	14,570	14,444	25,662	25,744	25,476
65～74歳	4,958	4,315	4,150	8,207	7,179	7,002
75歳以上	5,345	6,237	6,622	9,668	11,046	11,539
高齢者計	10,303	10,552	10,772	17,875	18,225	18,541
総人口	44,592	43,566	42,443	76,377	75,481	74,345
高齢化率	23.1%	24.2%	25.4%	23.4%	24.1%	24.9%



	猿投			松平・下山		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	24,097	23,773	23,531	4,278	3,744	3,266
40～64歳	18,769	19,333	19,732	4,808	4,485	4,136
65～74歳	6,759	5,891	5,617	2,107	2,080	2,136
75歳以上	7,577	8,725	9,173	2,028	2,265	2,389
高齢者計	14,336	14,616	14,790	4,135	4,345	4,525
総人口	57,202	57,722	58,053	13,221	12,574	11,927
高齢化率	25.1%	25.3%	25.5%	31.3%	34.6%	37.9%

	藤岡・小原			足助・旭・稲武		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
40歳未満	8,512	7,934	7,399	2,777	2,403	2,072
40～64歳	8,256	7,957	7,613	3,286	3,052	2,809
65～74歳	3,102	3,091	3,248	2,276	1,904	1,678
75歳以上	2,646	3,153	3,444	2,936	3,146	3,165
高齢者計	5,748	6,244	6,692	5,212	5,050	4,843
総人口	22,516	22,135	21,704	11,275	10,505	9,724
高齢化率	25.5%	28.2%	30.8%	46.2%	48.1%	49.8%

出典) 2023年実績は、豊田市：住民基本台帳人口（10月1日時点）

※1 2026年、2029年の推計人口は、各年10月1日時点

※2 圏域別の推計人口の合計が、全市の推計人口と一致するよう、差分を圏域別推計人口の構成比に基づいて按分しています。

## 4 日常生活圏域別の認定者数の将来推計

日常生活圏域別・年齢階級別推計人口に対し、2022年9月末時点の介護度別・年齢階級別出現率を乗じて、2029年までの圏域別の認定者数を推計しました。

その結果、2023年から2029年にかけて、「足助・旭・稲武」以外の7圏域で、認定者数が増加する見込みです。認定率については、「拳母」、「高橋」、「上郷」、「高岡」、「猿投」で大幅にする見込みです。

図表2 - 24 日常生活圏域別の推計認定者数

単位：人

	拳母			高橋		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	28,533	29,676	30,984	15,440	15,688	15,827
認定者計	4,778	5,426	6,214	2,229	2,573	2,983
認定率	16.7%	18.3%	20.1%	14.4%	16.4%	18.8%
要支援1	686	766	861	311	354	406
要支援2	892	1,004	1,135	402	459	520
要介護1	943	1,088	1,271	435	508	597
要介護2	777	885	1,009	377	442	522
要介護3	543	622	722	239	277	322
要介護4	526	597	691	268	309	357
要介護5	411	464	525	197	224	259

	上郷			高岡		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	10,303	10,552	10,772	17,875	18,225	18,541
認定者計	1,499	1,721	1,997	2,637	3,011	3,458
認定率	14.5%	16.3%	18.5%	14.8%	16.5%	18.7%
要支援1	197	222	257	393	446	503
要支援2	258	290	331	470	530	594
要介護1	325	380	447	543	629	737
要介護2	238	278	321	444	516	602
要介護3	156	181	216	268	304	348
要介護4	190	219	254	311	352	406
要介護5	135	151	171	208	234	268

	猿投			松平・下山		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	14,336	14,616	14,790	4,135	4,345	4,525
認定者計	2,238	2,518	2,857	730	752	790
認定率	15.6%	17.2%	19.3%	17.7%	17.3%	17.5%
要支援1	311	349	393	89	95	98
要支援2	389	438	497	133	139	147
要介護1	412	468	541	151	155	165
要介護2	389	440	500	136	139	148
要介護3	264	298	338	90	92	96
要介護4	286	317	355	79	80	81
要介護5	187	208	233	52	52	55

	藤岡・小原			足助・旭・稲武		
	2023年実績	2026年	2029年	2023年実績	2026年	2029年
高齢者人口	5,748	6,244	6,692	5,212	5,050	4,843
認定者計	974	1,064	1,202	1,047	1,034	1,044
認定率	16.9%	17.0%	18.0%	20.1%	20.5%	21.6%
要支援1	111	122	140	125	122	126
要支援2	169	185	211	202	199	199
要介護1	184	203	229	214	210	215
要介護2	156	171	192	188	186	190
要介護3	116	127	143	136	137	135
要介護4	137	147	164	111	109	109
要介護5	101	109	123	71	71	70

出典) 2023年実績は豊田市資料

※1 2026年、29年の推計認定者数は、各年9月末時点

※2 住所地特例の人は除きます。

※3 圏域別の推計人口の合計が、全市の推計人口と一致するよう、差分を圏域別推計人口の構成比に基づいて按分しています。

## 5 認知症高齢者数の将来推計

認知症とは「アルツハイマー病その他の神経変性疾患、脳血管疾患その他の疾患により日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状態<sup>※1</sup>」をいいます。

本市の性別・年齢階級別推計人口に対し、厚生労働省が示す認知症将来推計に関する研究<sup>※2</sup>の認知症有病率を乗じて、2023～2029年の認知症高齢者数の推計をしました。

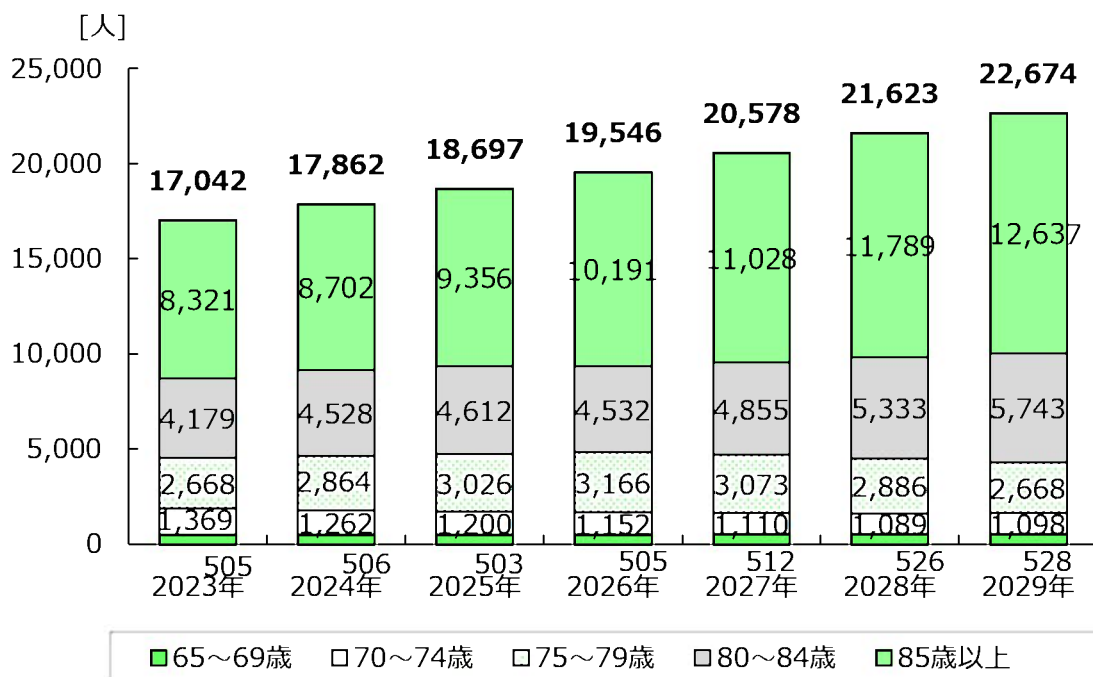
また、糖尿病患者は認知症発症リスクが高いことが認められており、更に今後、糖尿病患者の割合が増加すると予測されていることから、認知症有病率は糖尿病患者が増加するとの仮定に基づいて算出された有病率を採用しています。

認知症高齢者数は、2026年に1万9,546人、2029年には2万2,674人となり、増加基調で推移する見込みです。年齢別でみると、85歳以上が約5割を占めています。

※1 介護保険法第5条の2第1項

※2 「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(2014年度 厚生労働科学研究費補助金特別研究事業)

図表2 - 25 豊田市の推計認知症高齢者数



出典) 豊田市推計

## IV 市民ニーズ等の把握

### 1 豊田市高齢者等実態調査

本計画の策定に当たって、日常生活、高齢者福祉、介護保険、在宅医療、介護者の支援、介護人材の確保などに関する現状や意向を把握するために、2022年9月から10月まで、高齢者、介護保険の認定者等、介護サービス事業所、ケアマネジャーを対象に「豊田市高齢者等実態調査」を実施しました。主な結果については、次ページからのとおりです。

図表2 - 26 各アンケート調査の回収結果

調査の種類	配布数（人）	有効回答数（人）	有効回答率（%）
高齢者	3,000	2,259	75.3%
要支援者等	2,000	1,362	68.1%
要介護認定者	2,000	1,242	62.1%
介護サービス事業所	171	132	77.2%
ケアマネジャー	75事業所	112	—

※高齢者 : 65歳以上の要支援等・要介護認定者に該当しない人  
 要支援者等 : 要支援と認定されている人、及び、介護予防・生活支援サービス事業対象者  
 要介護認定者 : 要介護と認定されている人  
 介護サービス事業所 : 市内の介護サービス事業所（法人単位）  
 ケアマネジャー : 市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー（75事業所に2枚配布）

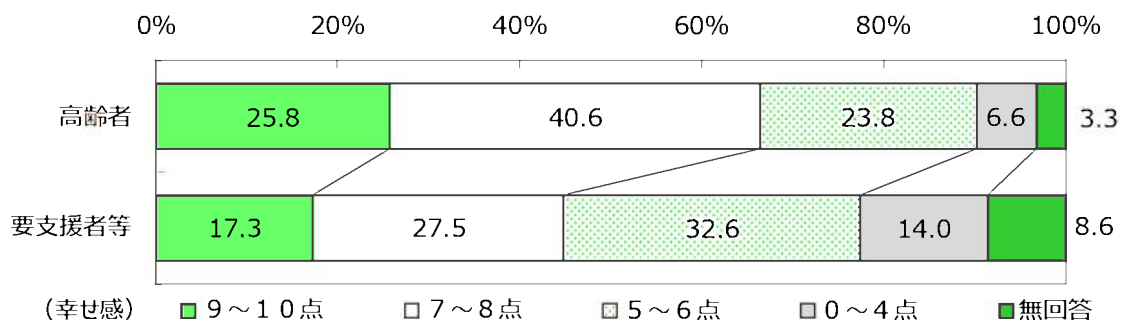
(1) 幸せ感と社会参加

高齢者と要支援者等に、現在の幸せ感<sup>\*</sup>を0～10点の間で回答してもらったところ、平均で高齢者は7.3点、要支援者等は6.4点でした（図表2-26）。

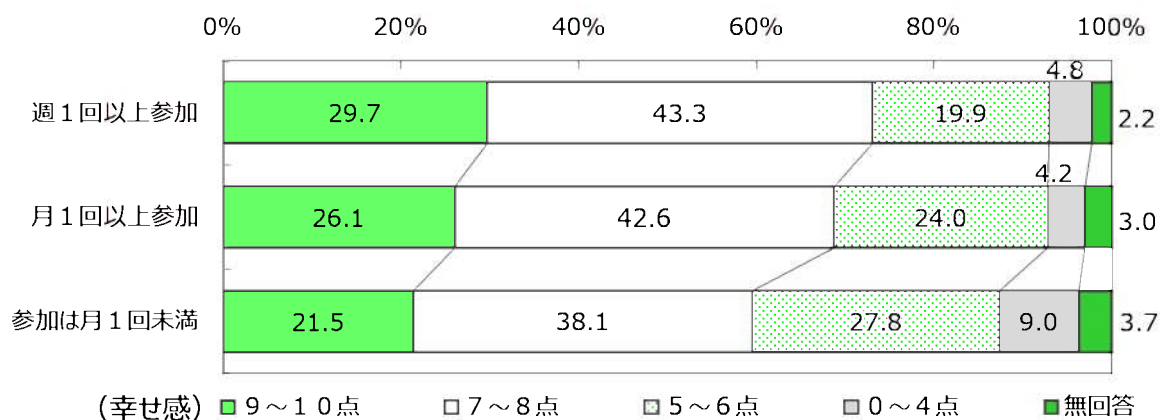
また、高齢者と要支援者等のどちらも、会・グループ活動をしている人ほど、幸せ感が高い傾向にあります（図表2-27・2-28）。

<sup>\*</sup>幸せ感：現在どの程度幸せかを、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として回答

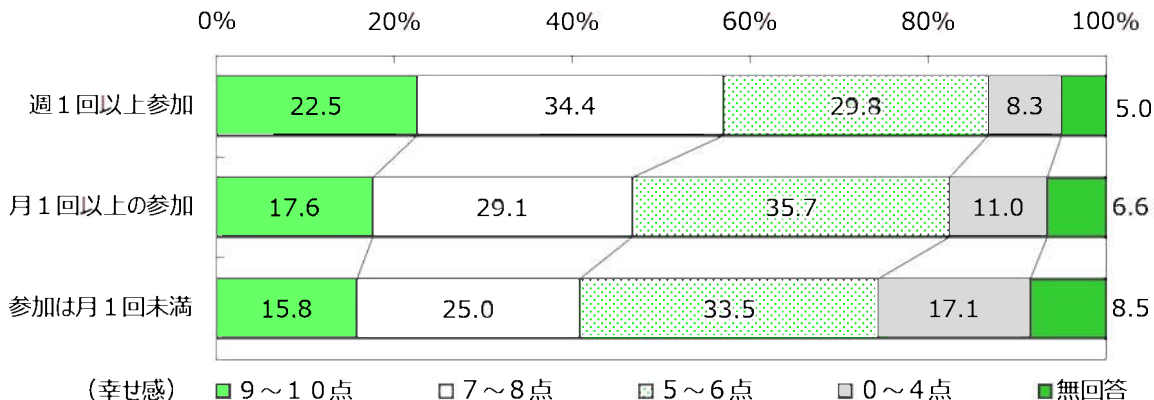
図表2 - 27 幸せ感



図表2 - 28 会・グループ活動と高齢者の幸せ感



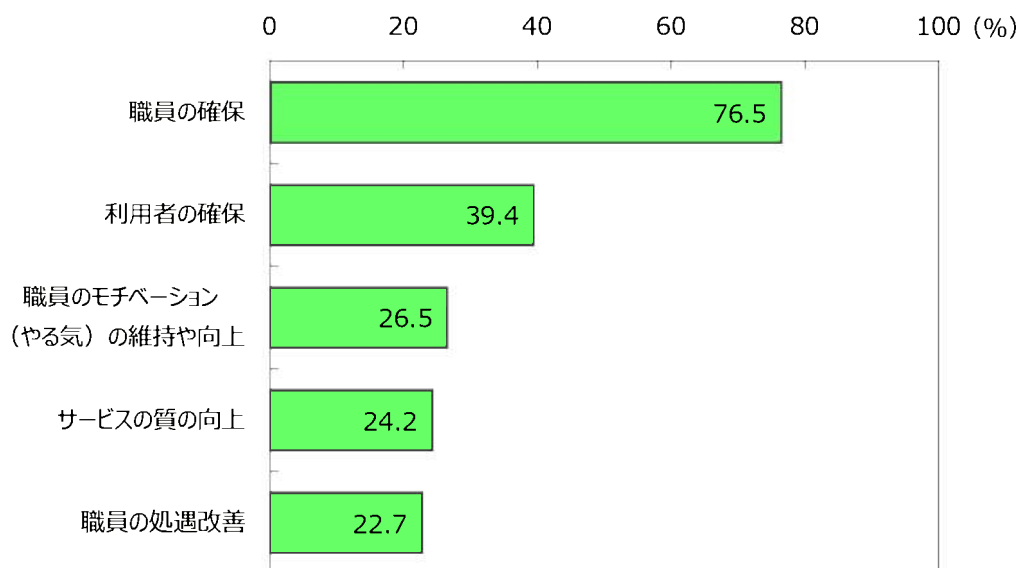
図表2 - 29 会・グループ活動と要支援者等の幸せ感



(2) 介護人材

介護サービス事業所の運営上の課題で「職員の確保」と「利用者の確保」が課題としてあげられています（図表2-30）。

図表2 - 30 介護サービス事業所の運営上の課題（上位5項目） ※複数回答あり

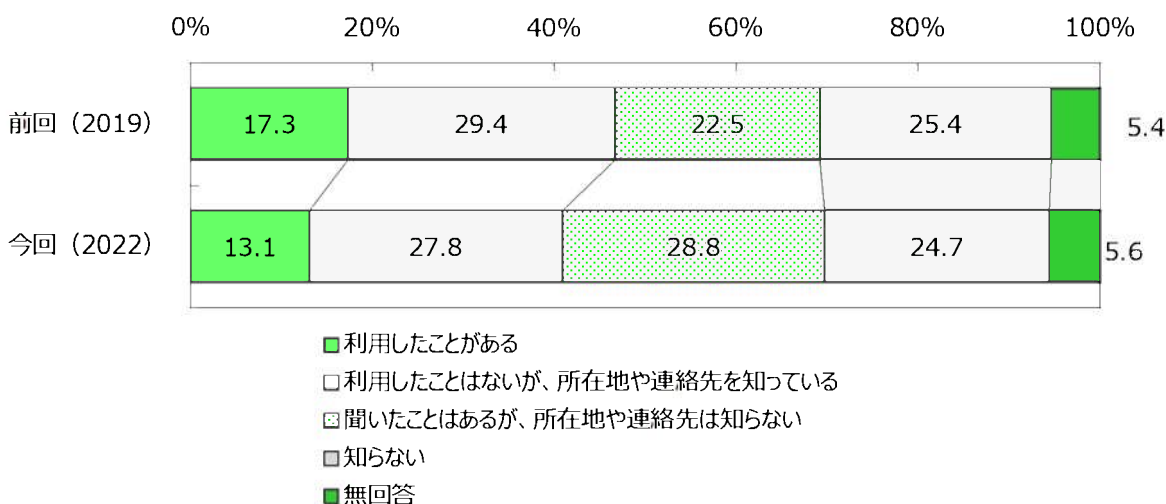


(3) 高齢者の介護や福祉の相談窓口（地域包括支援センター）

高齢者に、介護や福祉の相談窓口である地域包括支援センターの認知度を確認しました。

「利用したことがある」（13.1%）から、「知らない」（24.7%）まで回答が分散しています。3年前の調査と比べると、「聞いたことはあるが、所在地や連絡先は知らない」が増加しています（図表2-31）。

図表2 - 31 地域包括支援センターの認知度



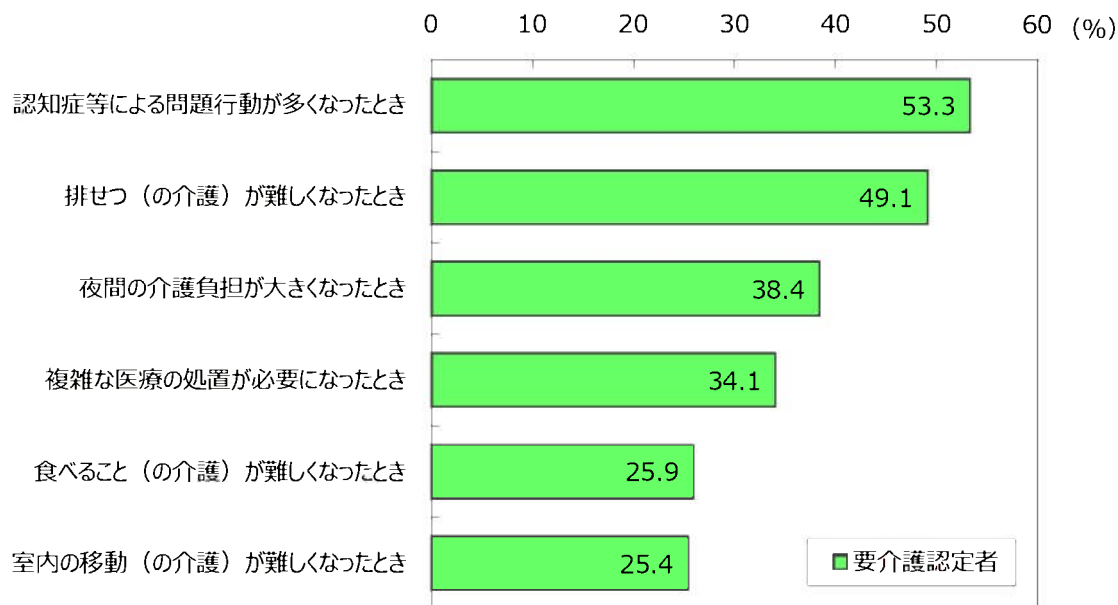
(5) 認知症

要介護認定者に、在宅での介護を断念し施設等へ入所する原因を回答してもらったところ「認知症等による問題行動が多くなったとき」が最も多くあげられました(図表2-32)。

また、ケアマネジャーに、認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきことについて回答してもらったところ、「認知症について、住民の理解を深める」、

「認知症になっても仕事やボランティア活動ができる機会をつくる」「認知症の人の家族が、いつでも相談できる機会をつくる」が上位にあげられました(図表2-33)。

図表2 - 32 在宅での介護を断念し施設等へ入所する原因(主な項目) ※複数回答あり



図表2 - 33 認知症の人が安心して暮らしていくために取り組むべきこと(主な項目) ※複数回答あり

